

旧カリキュラム

シラバス



郡山看護専門学校
看護学科
第10回生
(令和5年度：2年生)

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
保健環境論	古戸 順子 福島県で保健師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期

<目標> 1. 人々の健康の保持・増進に必要な活動を理解する。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	形態	教材	担当教員
1	2	公衆衛生の意義、健康の概念、公衆衛生活動の方法	講義	PP	古戸順子
2	4	疫学、地域の人々の健康指標（人口統計、保健統計）	講義	PP	古戸順子
3	6	母子保健、歯科保健	講義	PP	古戸順子
4	8	成人保健、高齢者保健福祉	講義	PP	古戸順子
5	10	精神保健福祉	講義	PP	古戸順子
6	12	難病、障害者・障害児保健福祉	講義	PP	古戸順子
7	14	産業保健、学校保健、感染症対策	講義	PP	古戸順子
8	15	成績評価の試験			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

<テキスト・サブテキスト>

新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学 メディカルフレンド社
国民衛生の動向

<評価の方法>

終講試験

<履修者へのコメント>

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
現代医療論	原 寿夫 病院で医師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期

<目標> 1. 医療の現状と今後の動向について学ぶ。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	形態	教材
1	2	第1章 医学・医療のあゆみ	講義	PP
2	4	第2章 健康と疾病	講義	PP
3	6	第2章 健康と疾病	講義	PP
4	8	第3章 医学と医療	講義	PP
5	10	第4章 わが国の医療供給体制	講義	PP
6	12	第5章 現代医療における諸問題	講義	PP
7	14	第5章 現代医療における諸問題	講義	PP
8	15	終講試験		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

<テキスト・サブテキスト>

新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 ①現代医療論 メディカルフレンド社

<評価の方法> 終講試験

<履修者へのコメント>

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
関係法規	齋藤 正一 病院で診療放射線技師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期

<目標> 1. 法律の基礎知識を学び、医療従事者としての業務と責任を理解する。

倫理と法

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	形態	教材
1	2	法の概念（1）	講義	テキスト レジュメ フィードバックレポート
2	4	法の概念（2） 衛生法「厚生労働行政について」	講義	テキスト フィードバックレポート
3	6	衛生法（2） 保健師・助産師・看護師法（1）	講義	テキスト フィードバックレポート
4	8	保健師・助産師・看護師法（2）	講義	テキスト フィードバックレポート
5	10	保健師・助産師・看護師法（3） 医療法	講義	テキスト フィードバックレポート
6	12	保健師・助産師・看護師法（4） 医療法	講義	テキスト フィードバックレポート
7	14	医事法	講義	テキスト レジュメ プリント
8	15	成績評価の試験		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

<テキスト・サブテキスト>

系統看護学講座 健康支援と社会保障制度 <4>看護関係法令 医学書院

<評価の方法> 成績評価の試験

<履修者へのコメント>

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
看護研究II	大槻 ゆう子 病院で看護師として勤務経験あり	2 年次	1	30	4月～12月

<|

1. 学習過程（レポート作成・発表）を通し、効果的に他者に伝える力を身に付ける。
2. 自己の看護実践の整理・看護の評価を行い、今後の看護実践能力の向上につなげる。
3. 看護研究への関心を高める。

<授業計画>

回数	時間	学習項目	学習内容	形態	教材
1	2	ケーススタディとは何か	ケーススタディの定義 タイプと目的 ケースレポートとは	講義	テキスト、PP資料
2	4	ケースレポートの書き方	本文の書き方、形式 文献の記載方法 抄録について（今年度から抄録は書かない）	講義	テキスト資料
3	6	文献研究	・ケースレポートを行う領域の決定 ・各自の研究テーマ・領域に合った文献をあつめ、読み込む（雑誌などから）	演習	
4	8	文献研究		演習	
5	10	文献研究		演習	
6	12	研究計画書について	テーマ・キーワードの抽出・研究計画書の書き方 研究計画書最終（提出日 7月下旬まで）	講義	テキスト資料、PP
7	14	ケーススタディ作成①	構成要因に沿って本文を作成 担当指導教員に指導を受けながら作成 計画的に作成を進める ケーススタディ本文提出：10月中旬	演習	講義資料 実習記録
8	16	ケーススタディ作成②		演習	講義資料 実習記録
9	18	ケーススタディ作成③		演習	講義資料 実習記録
10	20	ケーススタディ作成④		演習	講義資料 実習記録
11	22	ケーススタディ作成⑤		演習	講義資料 実習記録
12	24	口頭発表準備	発表のコツ・資料の作り方・スライドの作り方	講義	テキスト資料
13	26	口頭発表準備	発表会の進めかた・役割分担について・評価について	講義	資料
14	28	口頭発表準備	発表原稿の作成 資料・スライドの作成	講義	テキスト資料
15	30	口頭発表準備		講義	テキスト資料
16	32	ケーススタディ発表会	12月上旬に予定		

<テキスト・サブテキスト>はじめて学ぶケーススタディ、看護研究（医学書院）

<評価の方法>指導の受け方、ケーススタディの内容・発表で評価する。

<履修者へのコメント>自主的にレポートが作成できるように、計画的に指導を受けてください。

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期				
母性看護援助論 II	龍川 初江 病院で看護師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期 (実習開始前)				
<目標>	1. 女性のライフサイクルにおける思春期・成熟期・更年期・老年期の異常と看護について理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥期における異常と母子に及ぼす影響について理解する。								
<授業計画>									
回数	時間	講義内容・方法			形態	教材			
1	2	妊娠期における母子の異常と看護①			講義	テキスト PP			
2	4	妊娠期における母子の異常と看護②			講義	テキスト PP			
3	6	妊娠期における母子の異常と看護③			講義	テキスト PP			
4	8	分娩期における母子の異常と看護①			講義	テキスト PP			
5	10	分娩期における母子の異常と看護②			講義	テキスト PP			
6	12	産褥期における母子の異常と看護①			講義 GW	テキスト GW			
7	14	産褥期における母子の異常と看護②			講義	テキスト プリント			
8	15	成績評価の試験							
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
<テキスト・サブテキスト>									
新体系看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護									
<評価の方法> 終講試験									
<履修者へのコメント>									

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
精神看護援助論 II	大槻 ゆう子 病院で看護師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期

<目標>

1. 対象が社会資源の活用により、地域での生活を可能にするための援助を理解する。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	形態	教材
1	2	1. 対象への自立支援と生活の拡大 社会復帰・地域生活継続にむけた取り組みと看護	講義	
2	4	〃 保健福祉医療の連携の実際	講義	
3	6	〃 地域におけるリハビリテーションサービス	講義	
4	8	2. 生活の場における看護の展開 統合失調症患者の看護	講義	
5	10	〃 躁うつ病患者の看護	講義	
6	12	〃 神経症、パーソナリティ障害、摂食障害の患者の看護	講義	
7	14	〃 嗜癖・依存のある患者の看護 その他	講義	
8	15	成績評価の試験 終講試験		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

<テキスト・サブテキスト>

系統看護学講座 精神看護の基礎 医学書院

<評価の方法>

成績評価の試験

<履修者へのコメント>

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
在宅看護援助論 II	橋本 真喜 病院で看護師として勤務経験あり	2年次	1	30	前期

<目標>

1. 在宅療養介入時期による特徴を理解する。
2. 療養者の日常生活を理解する。
3. 療養者の健康状態にあった援助を計画する。
4. 家族を支援する援助について計画する。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	形態	教材
1	2	在宅看護介入時期別の特徴 (看護目標・看護計画)	在宅療養準備期（退院前）・移行期・安定期・急性憎悪・看取り期、在宅療養終了期	講義
2	4	療養の場の移行に伴う看護	病院から退院するまでの実際	講義
3	6	事例の展開	脳梗塞後遺症の在宅看護過程	講義・GW
4	8	事例の展開	"	GW
5	10	事例の展開	"	GW
6	12	事例の展開	"	GW
7	14	事例の展開	COPDの療養者に対する在宅看護	講義 GW
8	16	事例の展開	"	GW
9	18	事例の展開	"	GW
10	20	事例の展開	"	GW
11	22	事例の展開	若年性認知症の療養者に対する在宅看護	GW
12	24	事例の展開	"	GW
13	26	事例の展開	"	GW
14	28	訪問看護倫理要綱 訪問看護師のマナー・態度	実習に向けた心構え、服装や身だしなみ、態度と行動、対象者の権利	講義
15	30	成績評価の試験		

<テキスト・サブテキスト>

新体系看護学全書 在宅看護論 医学書院

<評価の方法>

終講試験、グループワークの参加状況、提出物

<履修者へのコメント>

生活を重視した在宅看護では、関連図作成が計画立案に不可欠です。疾患を中心とした問題解決ではなく、対象の生き方や望みを把握し、生活を重視した目標達成志向の看護過程を学びましょう。

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
看護管理	龍川初江 病院で看護師として勤務経験あり	2 年次	1	15	前期

<目標>

1. 看護管理学に含まれる要素と、看護のマネジメントについて理解する。
2. 患者の権利を守る概念と、ケアのマネジメントについて理解する。
3. 組織の管理・運営を行う看護サービスのマネジメントについて理解する。
4. 看護の定義と職業倫理、看護をとりまく環境要因としての諸制度について理解する。
5. 組織の原理・原則とマネジメントとの関連を理解する。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	形態	教材
1	2	看護管理とは 組織機能のマネジメント	講義	テキスト P.P 資料
2	4	看護ケアのマネジメント ケアプロセスの理解	講義	テキスト P.P 資料
3	6	キャリアマネジメント 自己のキャリア開発含む	講義	テキスト P.P 資料
4	8	看護サービスマネジメント サービス提供体制と人材マネジメント	講義	テキスト P.P 資料
5	10	看護サービスマネジメント 施設設備・情報管理・災害への備え	講義	テキスト P.P 資料
6	12	マネジメントに必要な知識と技術 マネジメント理論	講義	テキスト P.P 資料
7	14	看護を取り巻く諸制度	講義	テキスト P.P 資料
8	15	終講試験	講義	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

<テキスト・サブテキスト>

系統看護学講座 看護の統合と実践 I 看護管理 医学書院

<評価の方法> 終講試験 授業の参加態度 提出物

<履修者へのコメント>

必要に応じてグループワークや個別作業をすることがあります。実施する際は、事前に連絡します。

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
災害看護	松本 昌彦 病院で看護師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期

<目標>

1. 災害に関する基礎的知識を理解する。
2. 災害発生時の対応について理解する。
3. 災害看護の定義および災害サイクルに応じた看護の役割を理解する。
4. 災害時の看護活動の場に応じた援助について理解する。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	授業形態	教材	担当教員
1	2	災害概論	講義	PP	松本 昌彦
2	4	災害看護の基本	講義	PP	松本 昌彦
3	6	災害医療について	講義	PP	松本 昌彦
4	8	トリアージについて	講義	PP	松本 昌彦
5	10	トリアージ演習	演習	トリアージタッグ	松本 昌彦
6	12	活動の場に合わせた看護	講義	PP	松本 昌彦
7	14	災害関連死	講義	PP 三角巾	松本 昌彦
8	16	成績評価の試験			
9	18				
10	20				
11	22				
12	24				
13	26				
14	28				
15	30				

<テキスト・サブテキスト>新体系看護学全書 看護の統合と実践災害看護 メディカルフレンド社
いのちとこころを救う災害看護 Gakken

<評価の方法>

終講試験（篠原先生20%、松本先生80%）

<履修者へのコメント>

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
国際看護	山田智恵里 井手田理恵 病院で看護師として勤務経験あり	2年次	1	15	前期

- <目標>
1. 諸外国の保健医療福祉の現状と課題及び看護の実際について知る。
 2. 諸外国の看護事情を知り、看護の普遍性について理解する。

<授業計画>

回数	時間	講義内容・方法	担当	形態	教材
1	2	国際看護とは、JICA/JOCVについて	山田	講義	プリント PP
2	4	国際看護活動の実例（フィジー・ラオス、南アフリカ）	山田	講義	プリント PP
3	6	ラオスの国際状況について	山田	講義	〃
4	8	南アフリカ共和国の国際状況について	山田	講義	プリント
5	10	国際医療の現場で起こっていること「風に立つライオン」①	教員		DVD
6	12	国際医療の現場で起こっている—青年海外協力隊の実際の活動—	教員		ユーチューブ
7	14	国際看護の役割と重要性について	教員		GW レポート
8	15	成績評価の試験			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

<テキスト・サブテキスト>

国際看護 南江堂

<評価の方法> 終講試験評価 80%
レポート評価 20%

<履修者へのコメント>

科目名	担当教員	対象学年	単位	時間	開講時期
臨床看護技術の実践	多々良さつき 病院で看護師として勤務経験あり	2年次	1	30	4月～12月

<目標>

1. 複雑な状況の中で看護の優先度を考えることができる
2. 対象にあった看護技術を実施できる
3. 安全な医療提供のための看護を理解する

<授業計画>

回数	時間	学習項目	学習内容	形態	教材	担当教員
1	2	業務時間の管理①	・業務時間の管理に必要な事前準備・人的資源・協力 ・看護業務におけるチームワークとリーダーシップ ・優先順位・時間管理　・連絡・報告・相談 ・情報伝達・共有	講義	P P	多々良さつき
2	4	業務時間の管理②		講義	P P	多々良さつき
3	6	多重課題への対処①		講義	P P	多々良さつき
4	8	多重課題への対処②	・多重課題とは何か? ・多重課題遂行時の危険性 ・多重課題発生時の対処の原則 (優先順位の判断基準・安全な業務の遂行) ・多重課題ペーパーシミュレーション	講義	P P	多々良さつき
5	10	多重課題への対処③		演習		多々良さつき
6	12	複数患者を受け持つために①	・基礎データ把握と分析 (現病歴・病態生理学・検査処置治療・看護援助) ・1日のスケジュールの立て方	講義	P P	多々良さつき
7	14	複数患者を受け持つために②	・複数患者への基本的態度（言葉遣い・態度） ・複数患者へのコミュニケーション技術	講義	P P	多々良さつき
8	16	多重課題の事例検討①	事前) 事例に応じた看護実践のための知識確認(ペーパテスト) 事例検討) ①情報のアセスメント ②情報の聖地・優先順位 ③タイムスケジュールの作成 ④必要な技術の再確認 ⑤タイムスケジュールに沿った実践			多々良さつき
9	18	多重課題の事例検討②		演習	個人	多々良さつき
10	20	多重課題の事例検討③				多々良さつき
11	22	多重課題の事例検討④	実技試験の事例提示 事例を読み、患者の把握とタイムスケジュール作成	演習		多々良さつき
12	24	実技演習	①複数患者を受け持ち、多重課題・時間切迫の状況下で安全に配慮した優先順位の選択 ②自分の力量の判断、他社への協力（連絡報告）の依頼を適切に行う ③多重課題・時間切迫の状況下で基本的な看護技術を安全に実施 ④看護推論を活用して、看護実践を行う		GW	多々良さつき
13	26	実技演習		演習		多々良さつき
14	28	実技演習				多々良さつき
15	30	成績評価（筆記試験）				多々良さつき

<テキスト・サブテキスト>

看護の統合と実践① 看護実践マネジメント医療安全 メディカルフレンド社

<評価の方法>

課題 提出レポート 筆記試験 技術試験

<履修者へのコメント>

看護技術の自立度や善し悪しを評価するのではなく、自分の持てる力でその場の状況に対応する事を求める。出来事の緊急性や重要性を見極め、優先順位・これからの自分自身の対応能力を判断し、他者へ協力を適切に行い、結果的には行うべき業務を遂行できる事が目的である。